



鶴居中学校体育大会

6月30日に鶴居中学校第59回体育大会が開催されました。鶴居中学校生徒43名が参加し、体育大会を盛り上げました。

令和7年度体育大会スローガン「完全燃焼～全力で戦い抜け！～」のもと、綱引きや借り物競走、クイズ徒競走など様々な種目を生徒1人1人が協力し、全力を出し切った体育大会となりました。



第47回鶴居保育園大運動会

6月28日、第47回鶴居保育園大運動会が開催され、園児たちが保護者の声援を受けながら、元気いっぱい頑張りました。

当日は晴天となり、全員参加の徒競走や玉入れのほか、ちゅうりっぷ組の「ワクワクあふれだす」やたんぽぽ組の「あいうえおんがく」、こすもす組による「よっちゃんれ」などのお遊戯では、保護者席から「かわいい！」などの歓声があがりました。

とても可愛らしい、笑顔溢れる大運動会となりました。





令和7年第46回鶴居村中学生意見発表会

6月20日に鶴居村総合センターにて、令和7年度第46回鶴居村中学生意見発表会が開催されました。鶴居中学校の代表生徒6名が、生徒や寿大学の学生など約110名が見守るなかで発表しました。

最優秀賞には3年上田美月さんが発表した、好きな映画の内容と村での体験をもとに、人口減少の解決には直接的なコミュニケーションが重要であり、人のつながりが鶴居村の最大の武器であるという内容の「人とのつながりから未来へ」が選ばれました。優秀賞には1年鈴木颯真さんの読書の大切さと自分の夢について発表した「自分の将来について」と1年杉本翠さんの好きなことへの思いが込められた「好きなことにまっすぐに」が選ばれました。

惜しくも受賞を逃しましたが、2年長田優利さんは村の「食」を「誇れるもの」として伝えたいという思いを込めた発表、2年東実和さんは地域の「そばにある魅力」を再度見直す大切さについて、3年堀口新さんは「鶴居の未来とは変化だ」と題し、未来への不安と挑戦についての率直な気持ちを語ってくれました。

寿大学の学生からは「村に誇りを持っていると感じた」「自信を持った発表で頼もしい」などの賛辞の声が寄せられました。

わんぱくアドベンチャークラブ「西別岳ハイキング」

6月21日（土）に、わんぱくアドベンチャークラブ6月講座「西別岳ハイキング」を、標茶町教育委員会と合同で開催し、48名と多くの方に参加いただきました。

初めての山道に慣れない子どもを、鶴居村から参加の大人の方や、標茶町から参加の高校生が積極的にサポートしていただきました。また、登山中にはお互いに励ましあって懸命に登っていく温かい交流の瞬間が多く見られました。

悪天候に見舞われ、残念ながら西別岳登頂はできませんでしたが、全員が「がまん坂」を登り切り、一部の参加者は「リスケ山」を目指し、無事に登頂できました。

今後も、次世代を担う鶴居村の子どもたちが、多様な経験を通じて豊かな人間性と想像力を身に付けることができるよう、わんぱくアドベンチャークラブでは様々な体験活動を行っていきます。多くの方のご参加をお待ちしています。

